

フォニックスについて

(1) フォニックスとは

フォニックスとは、発音と文字の関係性を学ぶ音声学習法。英語圏の子どもに読み書きを教えるために開発されたものです。

アルファベット毎の発音を先に学ぶことで、知らない単語でも耳で聞いただけでスペリングが分かり、正しく書くことができるようになります。

POINT
1

アルファベットの読み方がまったく違います。

★ フォニックスでの読み方 ★

Aa [æ] エア	Bb [bi:] ブ	Cc [ki:] ク	Dd [di:] デ	Ee [i:] エ	Ff [ef] フ	Gg [gi:] ジ
Hh [heɪ] エイ	Ii [i:] イ	Jj [dʒi:] ジュ	Kk [ki:] ケ	Ll [li:] エル	Mm [em] エム	Nn [en] エン
Oo [o:] オ	Pp [pi:] ピ	Qq [ki:] ケ	Rr [ri:] エル	Ss [es] エス	Tt [ti:] テ	Uu [ju:] ユ
Vv [vi:] ヴ	Ww [wi:] ヴェ	Xx [eks] エクス	Yy [ji:] ジ	Zz [zi:] ゼ		

左のフォニックス一音一音をつなげるのが発音の基本。ローマ字読みではなく、英語らしい読み方ができるようになります。pigはローマ字読みすると「ピグ」となりますが、フォニックスのルールで発音すると「ピグ」となります。

p + **i** + **g** = **pig**
[p] [イ] [グ] [ピグ]

j + **o** + **b** = **job**
[ジ] [オ] [ブ] [ジョブ]

POINT
2

スペルと発音の間にあるルールを身につけます。

★ 代表的なフォニックスのルール ★

子音+子音

2文字子音

子音文字2つで新しい音を作るもの

例) s(ス)+h(ハ)=sh(シュ)

連続子音

子音文字2つや3つでそれぞれの音を残しながら新しい音を作るもの

例) s(ス)+t(トゥ)=st(ストゥ)

母音+母音

2文字母音

母音文字2つで新しい音を作るもの

例) a(エア)+u(ウ)=au(オー)

礼儀正しい母音

母音文字2つで1つ目を名前読みして2つ目を読まないもの

例) o(オ)+a(エア)=oa(オウ)

サイレントe

母音文字1つ+子音文字1つ+eの並びで、母音文字を名前読みしてeを発音しないもの

例) a(エア"文字の名前は「エイ」")+i(トイ)
+e(エ)=ate(エイトゥ)

フォニックス発音一覧の読み方を基本に、上のような子音と子音が重なった場合や「e」を発音しない場合など、いくつかの独特のルールを学んでいきます。これらのルールをマスターすることで、例えばinterestingといった難しい単語でも「インタレストィング」といった具合に、「見た」だけで正しく「読める」力が備わるのです。

i + **n** + **t** + **er** + **e** + **st** + **i** + **ng** = **interesting**
[イ] [ン] [トゥ] [アー] [エ] [ストゥ] [イ] [ング]

1

（2）実施方法

フォニックスは、教材（株）mpi 松香フォニックス「SWITCH ON!」（クラウド型）を使用して行います。

○「SWITCH ON!」の概要

- ・「SWITCH ON!」は大阪府教育委員会と（株）松香フォニックスが共同で開発した小学校モジュール（短時間）学習に対応したフォニックス学習教材で、大阪府を初め全国700校で導入されている。
- ・主にモジュール（10分～15分程度）に対応した動画教材になっており、電子黒板やタブレットを使用して、動画を視聴しながら行う。
- ・各モジュール全てにシナリオがついているため、教員はファシリテーターとしての役割でシナリオを参考にしながら進める。
- ・インプットを軸に、多くの「英語の音」に触れ、積み重ねていくことで児童が楽しみながら自然に体得していく、ラウンド方式で学びを進めていく。
- ・学習の進度に応じ、Grade 1～6まであり、初めて学習する場合は高学年でもGrade 1が推奨。1年間で1グレードが目安となるため、小学校1年生でGrade 1からスタートすると卒業時にGrade 6まで全Gradeが終了するイメージ。
- ・「SWITCH ON!」には、1グレードに週3回（年105回）分の動画教材が入っているが、週2回、週1回でも実施可能。（その場合の教材の使い方も示されている）

小学校英語 SWITCH ON!®は

中学校への接続を視野に、**6カ年**を体系的に学びます。

